

第17回 市民参加懇談会コアメンバー会議
- 市民参加による政策検討会議 -
議事録

1. 日 時：平成15年3月16日(火) 13:30~15:30
2. 場 所：中央合同庁舎第4号館 2階 共用第3特別会議室
3. 出席者：木元座長(原子力委員)、碧海委員、新井委員、岡本委員、小川委員、蟹瀬委員、東嶋委員、中村委員、吉岡委員
(原子力委員会)町委員、前田委員
(内閣府)藤嶋参事官、後藤企画官、犬塚参事官補佐
4. 議 題：(1)第7回市民参加懇談会~長計へのご意見を述べていただく場として~の開催計画(案)について
(2)その他
5. 配布資料
資料市懇第17-1号 「第7回市民参加懇談会~長計へのご意見を述べていただく場として~」の開催計画(案)について
資料市懇第17-2号 第16回市民参加懇談会コアメンバー会議議事録

6. 審議事項

- (1)第7回市民参加懇談会~長計へのご意見を述べていただく場として~の開催計画(案)について

事務局より、資料市懇第17-1号について説明した。

(木元座長)

- ・たくさんのご意見をいただき、大変ありがたく思っている。いただいたすべてのご意見については、資料17-1の参考資料に都道府県や年齢、性別とともに記載させていただいている。ただし、お名前は載せていない。その中に発言をしたいという方が28名いらっしゃり、その中から10名程度をお選びしなければならない。10名お選びする件は、人事案件でもあり、プライバシーにも関わるので、非公開で討議させていただこうと思っている。一番最後の議題にさせていただきたいと思っており、その点だけご了承いただければと思う。
- ・資料17-1の2枚目、「4.検討事項」というところに入らせていただく。
- ・まず、私の方から5分ぐらいごあいさつをさせていただければと思う。市民参加懇談会とはどういうものかということを中心に簡単に説明差し上げ、今回は原子力長期計画を策定する際に、皆様方からのご意見をいただいて、原子力長期計画という政策を策定するプロセスにそれを反映させる。そのため、市民参加懇談会の開催が大変意味のあることなので意見募集をさせていただいた、という趣旨を説明したいと思っている。結果としてこれだけご意見をいただき、その中から意見を発言したいという方を10人ほど選ばせていただき、今回ご参加いただいたということを5分ぐらいご説明しようと思っている。
- ・3月27日の第7回市民参加懇談会にご出席のコアメンバーの方がいらっしゃる。白板にも書いたが、その方々にまずどういうふうに座っていただくかを検討したいと思

う。コアメンバーと応募されたご発言の方々とどう配置するかということと、最初にご発言いただく方を紹介すると同時にコアメンバーもご紹介して、それぞれ一言ずつでもご発言いただくかどうか。少し雰囲気盛り上げるといふか、「こんにちは」ぐらいは言うか、ご紹介したときの交流を考えても良いのではないかと思う。

(中村委員)

- ・最初の5分は、もちろん座長から趣旨説明をしていただいて良いと思う。
- ・着席の仕方は一考が必要かと思う。できれば座長と司会進行の位置はどこかに決め、それ以外はコアメンバーの方と発言される方、例えば交互に並ぶと良いかもしれない。向き合う形よりもこういう形の方が懇談しやすいと思う。

(木元座長)

- ・資料にも会場の配置図があるが、コの字型に机を並べて、4人掛けと6人掛けの辺がある。入り口のドアが下方として、座長はどこに座るのが良いか。右の方の4人掛けの辺か。

(中村委員)

- ・そう思う。

(蟹瀬委員)

- ・報道席が左にあるとすると、そちらへ向いてということになる。

(中村委員)

- ・四谷でやった東京開催ときもそういう感じだったと思う。
- ・四谷のときの反省でもあるが、コアメンバーと発言者が向かい合ってしまうと、いかにも市民参加懇談会と発言される方が対峙しているようなイメージになってしまう。

(木元座長)

- ・左側以外が一般のお客様として、そちらにお尻を向けないように、司会は左の方が良いか。

(中村委員)

- ・四谷のときもそういう感じだった。

(木元座長)

- ・では、左側の4席の真ん中2つに中村委員と私が座るとしてどちらに座るのがよろしいか。

(中村委員)

- ・それはどちらでもよろしいと思う。

(木元座長)

- ・では仮に、入り口近くから木元、中村委員の順にしておく。
- ・発言者の方には、座長と司会がいる机以外の、コの字型のところに順番に座っていただくということか。

(中村委員)

- ・そうなるだろう。
- ・発言者の方々とコアメンバーが交互に並んでいただくという案が1つと、もう1案は上下両側の机の司会進行寄りに5人ずつ発言者の方に並んでいただいて、奥の方にコアメンバーが並ぶと、あまり対峙したという感じにならないだろう。

(碧海委員)

- ・ 発言のとき、2分間の質問というのはコアメンバーもするのか。
- (中村委員)
- ・ そう思う。
- (碧海委員)
- ・ ということは、最初からコアメンバーがいた方が良いということか。
- (中村委員)
- ・ いた方が良い。
- (吉岡委員)
- ・ 5人ずつ並べた方が良いと思う。
- (木元座長)
- ・ 向かい合うということか。
- (吉岡委員)
- ・ そうである。長辺の一方を委員が占めて、他方を招聘者が占めるより、メリットがある点は、招聘者同士での対話がやりやすいということである。
- (木元座長)
- ・ 両側に5人ずつということ。
- (碧海委員)
- ・ その方が良い。座長と中村委員の隣の席は避けた方が良い。
- (中村委員)
- ・ 座長と進行の両隣りというのは座りにくいと思うので、席をなくし、他の辺へ持っていったほうが良い。
- (木元座長)
- ・ コアメンバーの当日参加者は今のところ何人か。
- (中村委員)
- ・ 座長と私を入れて10人だと思う。したがって、残り8席あれば良いわけである。
- (木元座長)
- ・ そうすると、座長と司会が座る辺には2人だけ座り、机も2人分の長さにし、他のコの字型の机との間に隙間があるような配置になる。
- (中村委員)
- ・ そんな感じでどうだろうか。
- (木元座長)
- ・ 良いと思う。
- ・ マイクはご発言の方それぞれにつくか。そうでなければ2人に1つか。
- (中村委員)
- ・ 最低、座長と司会のところは必要。できればご発言の方10名分のマイクが欲しい。コアメンバーはワイヤレスを回しても良いので、2本か3本でも良いと思う。
- (木元座長)
- ・ こんな形で行いたいと思う。
- ・ 次の懸案事項だが、コアメンバーの方のご紹介はどうするか。一番最初の事務局からのアナウンスのときに、ご発言の方やコアメンバーは紹介することになるが、その後、順繰りに挨拶程度言うということになるか。

(碧海委員)

・紹介といっても、名札はあるだろう。

(木元座長)

・名札は座席の机の上に立てる。

(碧海委員)

・それならば、いちいち紹介するのもどうだろうか。

(新井委員)

・しかし、聞いている人がいる。

(碧海委員)

・いちいち紹介するか。

(木元座長)

・時間はもったいないかもしれない。

(新井委員)

・せっかく座っていらっしゃる方を、紹介くらいしても良いのではないか。

(中村委員)

・全く紹介しないというのもおかしいかもしれない。

(新井委員)

・名札も遠くからは見えないだろう。

(中村委員)

・やっぱりお名前は紹介した方が良いでしょう。コアメンバーの一言挨拶は要らないと思うが。

(碧海委員)

・要らないと思う。

(中村委員)

・その後で理解を深めるために質疑をするので、そのときにオーディエンスの人のことも考えて、「コアメンバーの　　です。お尋ねしますが」と切り出していただければ良いと思う。

(木元座長)

・みずから名乗っていけば良い。

(中村委員)

・最初はお名前だけの紹介で良いでしょう。やるなら全員を同様にした方が良い。

(木元座長)

・中村委員を含めて、円卓に座っていただく方を全員事務局からご紹介した後、中村委員にバトンタッチする。

(中村委員)

・発言者の方は個々に私がお呼びするということか。

(木元座長)

・そうである。最初に一言、開催の趣旨を私からご説明させていただき、またすぐ中村委員にお返しして、順次願います。

(中村委員)

・最終的に確認を皆さんからとるが、どこからお出でになったどなたですというような

紹介をして、「ではご意見をどうぞ」という形で次々にいく。1人終わられたら、いわゆる趣旨としてはよりご発言の内容の理解を深めるために、「ご質問なりある方はどうぞ」ということで、コアメンバーに発言していただくという形で次々進行していくのが良いかと思う。

(木元座長)

- ・ 良いと思う。了解した。
- ・ 質問を2分程度としたのは、こちらの意見で絡んでいってディベートするのではなく、あくまでも、それはどういう理由でそういうお考えをお持ちになったんですかというようなことから、2分で良いと思った。
- ・ 次に、ご発言の要旨はこの分厚い参考資料の中に入っているということによろしいと思うが、事前にもしレジユメを配りたいとか、OHPで説明したいとかという要望があったときにどうするか。

(碧海委員)

- ・ OHPは、会場のこの構造だと相当難しいのではないか。

(木元座長)

- ・ 見えない。

(中村委員)

- ・ 10人お呼びするなら、10人の方に同じ条件で発言をしていただくということを考えると、基本にご発言、お話だけということに統一するというのも一つの考えだと思う。禁止するといふときつい言い方だが、OHP等は使用できません、と。

(木元座長)

- ・ OHPに使う枚数を全部ペーパーにするといってもお断りするか。

(中村委員)

- ・ 主催者として会場全員分をそろえるとなると物理的な問題もある。ご自分で配布したいと言われるのはとめられないかもしれないが、主催者側で用意してほしいというご要望に対しては、原則的にそうされない方と同じ条件にしたいのでとお断りするという考え方もある。そういう姿勢でいくかどうか。

(木元座長)

- ・ 資料17-1の参考資料は、通し番号で整理してあるが、これで公開されているので、もしご発言の際にご自分のお名前を出してお配りしたいなら、この資料を会場に配布し、「何ページの何に私の言いたいことが書いてあります」ということをおっしゃっていただければ、何とかカバーできるのではないかという考えでも良いと思う。

(碧海委員)

- ・ 原子力長期計画関係で、事務局の方から何か資料は配られるか。というのは、発言者は自分の資料は用意しなくても、例えばそれ絡みで意見を言うということはあるのではないかと。

(木元座長)

- ・ 本日の検討事項の「その他」のところに配布資料をどうするか、というのがある。

(碧海委員)

- ・ だからそのこととあわせて考えた方が良いのではないかという気がする。

(犬塚参事官補佐)

- ・今一案として考えているのは、平成12年度の原子力長期計画、いわゆる現行の長計を配布するのと、この意見募集の際に「長計とは」という資料をつくらせていただいたので、それを配らせていただくのと、これまでの開催でも配っているが、市民参加懇談会とはという資料を配らせていただくということを考えているところである。

(碧海委員)

- ・関連して、10人の発言者に当日配布する資料が事前に渡されるのかどうかを考えた。それが事前に渡されていれば、例えばその資料との関連で意見を言うということではできると思う。

(木元座長)

- ・これらが配られるということを、事前に発言が決まった方にはお送りしておけば良いということになる。

(碧海委員)

- ・そう思う。

(木元座長)

- ・平成12年の、前回長計を踏まえた上で書いている方が多いので、大体皆さんインターネットでおとりになっていると思うが、事務的にきちんとお送りする。そうすると、カバーできるということ。

(吉岡委員)

- ・私は原子力政策円卓会議に何度も出たが、やはり部屋のレイアウトが問題になって、OHPをどこに置くかということで、置いてくださった機会が多かったと思うが、端の方に置いて真ん中の方の人が非常に見にくいとか、そういう問題があった。私は原則的にはOHPもパワーポイントも全部可だと思っている。その方が有利なことは明らかで、プレゼンテーションはどんな手段を使っても有利なプレゼンテーションをした者が勝ちだと思うので、自由だと思うが、このレイアウトでは躊躇せざるを得ない。だけれども、紙は10人ぐらいだから、認めてこちらで配布しても全然問題ないのではないかと思う。それも制約したらそれこそ非効率的な発言方法になると思うので。

(木元座長)

- ・紙は20枚も30枚も、となると大変なので、せいぜいで2枚、あるいはできるだけ1枚に、項目だけまとめてもらうようなイメージか。

(吉岡委員)

- ・ある程度あった方が良くと思う。

(木元座長)

- ・ペーパーの枚数ということか。

(吉岡委員)

- ・そうである。

(木元座長)

- ・ご自分の意見陳述のペーパーとしては、意見集約として配布されているが、それ以外にということか。

(吉岡委員)

- ・意見集約では短過ぎるから、別紙で出してきたぐらいの分量はあっても良いのではないかと思う。

(木元座長)

- ・ただ、1人5分という制約の中でどの程度できるかという問題もある。5分以内でできるレベルのもの。

(吉岡委員)

- ・私が発言者の立場になって考えると、最初は5分だが、あと2回ぐらいは発言できるかなというふうに、意見を分けて話すというテクニックを考える。

(木元座長)

- ・5分で10人なら50分だが、どうしても1時間はいってしまうだろう。

(中村委員)

- ・やりとりがあったら、発言者関係だけでも単純に考えて70分はかかる。実際には5分ぴったりで終わってくれる人はいない。

(碧海委員)

- ・必ず延びる。

(吉岡委員)

- ・第1部、第2部のうち、第2部はおまけで良いというのは、前回のコアメンバー会議でも言ったが、第2部が1時間40分というのは長い。これは1時間15分ぐらいにして、第1部を30分延長するとやや余裕がとれるのではないかという気はする。

(中村委員)

- ・現実にもこういう形式で進めた経験があるが、第1部は当然延びる。全体の中で吉岡委員がおっしゃるぐらいの時間は、ぎりぎりでも第1部に割きたいと思う。第2部は少しショートバージョンになっても仕方がない。
- ・もう一つ吉岡委員の案に関連して言えば、資料を配布したいという方について、認めるべきかもしれないと思うのは、過去にも経験があるが、一応発言時間が限られている。でも、こういう長文のを寄せてくださる方もいるわけだから、当然その時間内におさまらない方がいる。そのときに、「さらに私の言いたいことについては、時間がないからやめるけれども、これを見てくれ」という手段がとれる。そういうことを希望される方、それを持参されたい方については、わざわざこちらからそういうものをお持ちになって結構ですよという言う必要はないかもしれない。そういう発言の仕方、プレゼンテーションをしたいという方については、ペーパーについては僕も認めて良いと思うが、多分OHP、パワーポイントは本当にあまり効果的に使えないだろうと思う。

(木元座長)

- ・逆に、円卓のとき、吉岡委員もご存じだと思うが、OHPが見えない方がいらして。不満が残ってしまった。あまり不満を持っていただかない方が良いので、もしお申し出があったらOHPはやめて、ペーパーも何とか1、2枚の範囲内で、とお願いするか。

(中村委員)

- ・だから、レジュメの配布可というぐらいだろう、言うとしても。

(木元座長)

- ・以前にもあったが、自分たちのグループなり団体の代表のような方がいらして、自分たちでつくっているパンフレットを置いていいか、お配りはしないけれども、持って

いってもらえるよう置かせてもらいたい、という申し出があったことがある。そういうのはどうするか。

(中村委員)

・それは認めるべきなのではないか。

(木元座長)

・受付の横か何かはこちらでこういう資料を置くのと同じように置かせていただくという形ではよろしいか。

(中村委員)

・自由ピックアップで。

(木元座長)

・そうである。

・今日は原子力委員会から町委員と前田委員にご参加いただいているが、ご質問等あるか。

(町原子力委員)

・私はまだ一度も市民参加懇談会に出たことがないので、少し教えてほしい。懇談会において10人発言者に選ばれた方々から、意見と同時に質問が出ることもあるだろう。意見だけではなくて、こういうことを知りたいという発言も十分あり得るだろう。それに対してお答えになるのは、コアメンバーの方がお答えになるのか。

(木元座長)

・原子力委員会に対しての質問という形であればお答えはできなくなる。市民懇は原子力委員会に皆様方のご意見をお届けするという役割を担っているのでもしご質問が出て、例えば市民参加懇談会のことについて、ということなら、それぞれ経験があるから答えられるが、そうではなくて原子力行政とか、特定の事実関係になってくると、この市民懇のメンバーでは答えられないので、今日はご意見を聞く会だから、お答えは原子力委員会から改めてさせていただくという形をとらざるを得ないと思う。

(町原子力委員)

・それは、政策マターのみならず、若干技術的な安全の問題についての質問が出そうな気がするが、そういうのもコアメンバーの方では答えられない場合は持ち帰ってということになるわけか。

(木元座長)

・そうである。だからもし仮にその場で答えた方が良いような、時系列的な問題であるとか、間違いがあったからそれを訂正するとか、実はそれは誤解ですよと、可能な範囲で答えることはあり得るかもしれない。

(町原子力委員)

・しかしせっかくコアメンバーの方が並んでいらっしゃるわけだから、コアメンバーの方が例えば応募してこられた発言者に対して何らかの感想を述べるとか、そういうことはコアメンバーがいる意味があるし、そこで会話が成り立つ。そういうふうにするといういことか。

(木元座長)

・今までも検討し、まずご意見を伺うことに徹している。

(中村委員)

- ・感想を述べるというのは、少し趣旨が違う。

(町原子力委員)

- ・感想と言っではいけないのかもしれない。何かコメントを述べるとかという意味である。

(中村委員)

- ・というのは、いつもの市民参加懇談会と今回はまた少し違う。いつもの市民参加懇談会だと、おっしゃるように意見だけでなく質問もたくさん出る。開催地域に合った、あるいはタイムリーなテーマでやっていて、事件、事故が関係していたりということもあり、オブザーバーとして役所や企業の方をお呼びして座っていただき、インタラクティブにできるようにしている。これが往々にしてお答えになる方、説明なさるの方が時間をとり過ぎて、何も意見を聞いてないじゃないかという話になりかねない。これ自体は反省しなければいけないので、これからの進め方に反映させたいが、今回は特に長計についてのご意見でこういう事前募集をした意味は、そこで議論と質疑応答というのは基本的になしにしようという、あくまでも長計のご意見を聴く会と同じ趣旨で、前回委員長がいらっしゃったときに確認したが、コアメンバーがいるのは発言者の方の発言内容をより深く理解するために、補足的な質疑を行うという位置づけだと思う。コアメンバーが発言者に対して異論を唱えるとか議論をすとか、それからご質問に答えるとかという姿勢ではないと思う。特に質問に答えるというのは、あなたはどういう思いで市民参加懇談会にいるのですかというような質問をされれば、それは個人のことだから答えられるが、そうではなくて行政に関わることとか、福島が発電所はどうなる見込みなんだというような質問には答える任にないというのが我々の認識である。

(木元座長)

- ・少し補足させていただくと、円卓会議でもそうなのだが、意見を言っていたく方を単純に分けたとして、原子力賛成派、反対派と別れたとする。この発言者の間で直接やり合うことがある。しかし、我々が感想を言うということはある程度得ないだろうと思う。

(中村委員)

- ・ただ、全くの事実誤認があったりした場合には、吉岡委員なりがお答えになれる部分というのはあると思うから、そういう経過などについて、我々が認識している限りではお話しすることはあり得るが、そこで感想を述べたり、異を唱えたりというのは少し性格として違うかなと思っている。

(町原子力委員)

- ・そうすると、5分のプレゼンテーションのあとの2分の質疑応答は、むしろコアメンバーからではなくて同じ応募された発言者の方の中から質問が出てくるといった感じになるのか。

(木元座長)

- ・それは基本的にはコアメンバーの方からのご質問になる。そのおっしゃったことに対して、それはどういう意味かと正確に承るという意味で、お聞きするということである。先ほど私が申し上げたのは、応募された発言者の方々同士で話し合うのは、話し合いが進んで、あなたはそう言うけれども、同じようなところに住んでいるが問題な

い、などとやり合いが出てくる可能性があるということ。

(中村委員)

- ・その辺は進行係がコントロールさせていただくが、今、町委員がおっしゃっているような状況というのは、できれば第2部に考えたいと思う。第2部で先ほどの発言についてというのが会場から出ても良いし、発言された10人の中から相互に出ても良い。それを第2部にしたいという考えで、第1部はお招きした発言者にとにかく意見を言っていただくというのが原則で、プラス2分の質疑というのは本当の追加で、ない場合もあっても構わないと思う。

(町原子力委員)

- ・そう思う。2分というのは結構時間がある。2分というのは結構長い時間だ。

(中村委員)

- ・逆にそれなしで発言者に1分差し上げても良いわけだし、その辺は進行しながら、あまり差別がでないように、なるべく均等に機会を与えられるように配慮しようとは思っている。

(町原子力委員)

- ・よく分かった。

(木元座長)

- ・ここの2分と書いてあるのは、もし質問があれば質疑応答は2分であるという意味で、必ず2分ずつ質問しないとイケないわけではない。

(中村委員)

- ・これはどちらかというと、事務方というか、我々実行者側の方の進行台本みたいなもので、発言者の方には5分めどでお願いするということを申し上げるが、その後2分間質疑がありますということと言わないつもりである。

(吉岡委員)

- ・私は入試などで面接をやることがあるが、面接で受験生が話す以上に教官の側が詮索をするという議論のパターンになれているもので、2分は短いという気がするが、それは臨機応変にやれば良いと思う。

(碧海委員)

- ・参考のために伺いたいですが、発言を希望の28名と参加のみ希望の109名の男女比というのは分かるか。

(木元座長)

- ・結構女性の方も入っていると思う。後で数える。
- ・第1部の方で他に議論しておくことはないだろうか。蟹瀬委員、こんな流れでよろしいか。

(蟹瀬委員)

- ・特にコメントはない。

(前田原子力委員)

- ・意見をおっしゃる方のご意見というのは、当然ここに書いて出してきておられるご意見がベースだと理解していてよろしいか。

(木元座長)

- ・そうである。この中で28名の方だけが発言をされたいと希望されている。

(前田原子力委員)

- ・ここに書いて出されたことと全然違うことをおっしゃるといことは考えられないか。

(中村委員)

- ・私の今までの経験で言うと、そういう方もいらっしゃることはないが、やはりご意見一覧の資料を配布するので、発言者の方と本番の少し前に顔合せをするときに確認をさせていただき、ご発言いただくが、こういうものが今日は会場で配られており、あなたのご意見はEの 番であるということをご参考までに申し上げた方が会場の方は理解しやすいと思うので、それは申し上げてよろしいですねという確認をする。それで良いという方はもちろん大体この内容をしゃべってくれるので、それは関係なしにしゃべりたいという人はその場で大体分かる。

(前田原子力委員)

- ・よく分かった。

(木元座長)

- ・東嶋委員は、何かご意見ないか。

(東嶋委員)

- ・特にない。

(木元座長)

- ・新井委員はいかがか。

(新井委員)

- ・いや、特にない。

(木元座長)

- ・第1部の方はそういう形で進行させていただきたい。

(中村委員)

- ・あとはコアメンバーの出席の皆さん、よろしくご協力のほどを。

(木元座長)

- ・先ほど申した会の始まりでのコアメンバーの紹介は、お名前紹介での会釈ぐらいで、あとはご質問の2分以内のあたりで絡むことがあり得ると思っている。

(中村委員)

- ・その際に実は消費者の運動、活動をしている私ですがとか、ジャーナリストの私ですがというご発言をいただければ、自己紹介にもなると思う。

(木元座長)

- ・そう思う。

- ・それで、休憩をとって第2部に入るが、第2部の場合に、先ほど中村委員が言われたように、第1部の方で言い足りなかった部分が出てくる可能性もあるので、第1部で発言いただいた方にもう一回フォローしていただいて、そして後で時間の許す限り、会場からおっしゃりたい方が出ていらっしゃると思うので、ご発言いただくと、そういう形式でよろしいか。

(吉岡委員)

- ・よろしいが、やはり議長がコントロールをして、自由勝手に脈略なしの発言というのはしにくいようにした方が良く思う。例えば第1部に出た論点に絡める形で意見を出してくださいということをご具体的に議長がその都度指示を出して、なるべく散漫に

ならないような工夫は必要だと思う。

(中村委員)

- ・もちろん第2部でも第1部の発言者の方が追加発言ができるが、今の座長のお考えだと、最初にそういう方にもう一回チャンスを与えるようなニュアンスだったが、私はそうでない方が良くと思う。再発言は妨げないが、吉岡委員が言われたように、第1部の総括でいろいろなお意見があったけれども、長計に盛り込んでほしいというテーマで考えると、こういうあたりについてご意見が分かれましてとか、こういうご意見が多かったわけだが、さあ、それをお聞きになって、会場の皆さんは、ということで、まず会場を第2部については、その何人が発言があるうちで第1部の発言者ももう一回というのは妨げない。それは妨げないが、第2部はそういうふうにしてスタートしていった方が良く思うが。

(木元座長)

- ・私も実はその方が良く思う。というのは、先ほど中村委員が言われたように、第1部は完全に延びると思う。延びた中で、第1部の方々がご発言をある程度言われたなというぐらいの形までいければ良く思う。

(中村委員)

- ・結構会場から発言することを考えている方もいらっしゃると思う。あそこに座らずに、会場で発言しようという、あるいは他の方の意見を聞いてから発言しようという方もいらっしゃるの、あまり第1部がだらだらと長くなったり、第1部の方にばかり優先権を与えるようだと、会場の方たちが非常に欲求不満になる部分もあるので、第2部については先ほども話が出たが、1時間以上は最低とりたいと思うので、第1部を何とかそういうふうな形でまとめて、聞いていらっしゃる方にちょっと不満が残らないように、第2部のスタートはお聞きになっていかがですかと会場からということでスタートしたいと思う。

(木元座長)

- ・28名の中から後で10名ほど選ばせていただくが、残り18名の方は発言希望者である。多分ご出席にはなるだろう。その方たちに、まずは満足していただける形がとれればと思う。
- ・次に、マイクはどうするか。
- ・前に出てきて、きちんとお名前とお顔も出していただいてご発言をいただくという形を今までとっているわけだが、こういうレイアウトだとどこにマイクを置いたら良いだろうか。

(中村委員)

- ・周りの座席の方だが、例えば真ん中ぐらいに座っている人が通路へ出るときの出やすさというのはどんな感じか。座席のピッチが狭く、いちいち周りの人が立ち上がらないと動けないような状況だとまたちょっと考えなきゃいけないし、ピッチが少しあって、立ち上がって左右のどちらかの通路の方へ出られるぐらいだったら、通路のコーナーに何本かマイクを立てるという形で、ワイヤレスマイクをお渡しすると、占領される戦略をとる方もいらっしゃるし、公平性に欠けるので、それはなるべくしたくない。スタンドマイクを何本かにしたいと思う。
- ・この配列だと、一番後ろの席の方でも、少し移動すれば途中の通路には多分出られる

とは思うが、スタンドマイクが何本ぐらい可能か。今回は少し多い方が良いと思う。ロスタイムを少なくするためにも。

(木元座長)

- ・ 通路になっているところと、角あたりに置くか。

(中村委員)

- ・ 角が良いかもしれない。

(碧海委員)

- ・ 角と通り道を考慮した位置が良いと思う。

(中村委員)

- ・ 実際に客席のレイアウトをされたところで、可能な限りマイクは多く立てておいた方が良いと思う。どこからでも発言できるという雰囲気にしておいた方が良い。

(東嶋委員)

- ・ 発言者とコアメンバーの席を取り囲む4辺の通路のうち、長い2辺にはちょうど2つずつ傍聴席からの通路があいているから、あいているところに1本ずつ立てて、2つの辺で2本ずつ、計4本でいかがか。

(中村委員)

- ・ 理想的にはそれぐらいは欲しい。

(木元座長)

- ・ 短い2辺のうち、座長・司会席の正面にも2本置いて、6本でどうか。

(中村委員)

- ・ それぐらいあると、どこからでも発言できるという感じになるのではないか。傍聴席はなるべく通路が作れるように配置して、そのところにはマイクがあるという設定にして欲しい。そうしていただければ、細かいことはお任せする。

(木元座長)

- ・ マイクの位置はそうさせていただく。
- ・ 次に、配布資料をどうするか。それは先ほど犬塚参事官補佐からご説明があったようなもの以外に何かあるか。

(犬塚参事官補佐)

- ・ 先ほど申し上げたことを繰り返すと、いただいたご意見を全て集約したものに加えて、平成12年度にまとめた原子力長期計画、ご意見を募集したときに添付した「長計について」という3枚紙程度のもの、同様に添付した「市民参加懇談会について」という資料を考えている。

(木元座長)

- ・ それ以外は特に必要はないか。

(碧海委員)

- ・ 先ほど少し申し上げたが、データを集計されると思うので、男女比とか地域別とか、そういうデータがこの資料の中に入れられたら入れていただきたい。

(木元座長)

- ・ 年齢は要らないか。

(碧海委員)

- ・ 年齢を含めて、いわゆる集計データを。

(木元座長)

- ・ここに出ている性別、年齢、都道府県ということか。

(碧海委員)

- ・この一つ一つには書いてあるが、全体としての集計が欲しい。

(木元座長)

- ・これまでに1回、原子力委員会に報告しているが、今回の第7回市民参加懇談会でいただいたご意見についても原子力委員会の定例会議の場で報告させていただこうということで、よろしくお願ひしたい。

(中村委員)

- ・小さなことだが、先ほどの配布資料としては言われなかったが、会場に今日の資料の開催計画案のような式次第を配ると思う。そこに第1部と第2部の予定時間を入れないでいただけるか。「13時から17時」としておいて、途中で15分の休憩がある第1部、第2部構成だというだけにしておいてもらえるとありがたい。

(木元座長)

- ・中村委員が司会をされるとき、区切るよりも、時刻を入れないでたっぴりやろうという感じにしていただければ良いと思う。

(中村委員)

- ・トータルでは、お帰りの時間もあるから、17時終了を目標にしていることを、また、第1部では発言者の方からご意見を伺うが、第2部で会場からのご発言をいただく時間もとるという程度のことを言うようにしたい。1時間15分やりますという言い方はしないので、式次第にも書かないで、開始13時、終了17時予定、だけとしておいていただきたい。

(木元座長)

- ・そうさせていただく。
- ・次回のコアメンバー会議では、5月に予定している福島開催について検討したい。今日は資料をつけなかったが、開催案を作成して、次回お出ししようと思っているので、よろしくお願ひしたい。

(碧海委員)

- ・5月の日程はまだ決まらないか。

(木元座長)

- ・5月末になると思うが、それも含めて次回、ご提示させていただきたい。
- ・それでは、これから非公開にさせていただきたい。

(犬塚参事官補佐)

- ・第7回市民参加懇談会のご発言者を10名程度、選ばせていただくための討議について、人事案件でもあり、非公開で行いますので、大変恐縮ですが、一般傍聴の方は退席していただければと思います。よろしくお願ひします。

ご意見を応募された方々のうち、ご発言を希望された28名の方の中から、ご意見内容の重複、男女比、都道府県、年齢等を考慮して、コアメンバーの討議により10名の候補を選出した。

今後事務局より、選出された10名の候補の方々にご参加の可否を伺い、辞された方がいらっしゃる場合には、新たな発言者の方をコアメンバーに諮り、発言者を確定していくこととなった。

(2) その他
特になし

以 上